

3 月度議員懇談会



3 月度議員懇談会を3月3日11時より福井商工会議所ビルにて開催し、70名が参加した。

開会にあたり八木会頭から挨拶が行われた。冒頭で2月9日に杉本福井県知事より経済界に対して賃上げの要望を受けたことに触れた。昨年11月に福井商工会議所が行った調査では、約8割の企業が賃上げを行い、平均賃上げ率は、3・79%となったという結果を示した。ただし、賃上げの理由としては、人手不足を背景とする防衛的賃上げが大部分を占めており、企業としては新たな付加価値や利益を創出し、それを賃上げという形で社員に還元する必要があるべき形であると述べた。その



開会の挨拶を行う八木会頭

実現に向けて、福井商工会議所が昨年福井県に要望し創設された収益力強化事業補助金では、令和7年度でも予算措置がなされ、継続して会員企業をサポートしていきたいと抱負を述べた。

続いて卓話に移り、「ESHIKOTO TOと地域活性化」と題して、黒龍酒造(株)の水野直人代表取締役、前田建設工業(株)の諏訪俊雅常務執行役員より講演が行われた。

まずは、水野氏より2022年に永平寺町に誕生させた食と文化の発信施設である「ESHIKOTO」について説明が行われた。ヨーロッパのワイン産地をモデルとして、酒造りに不可欠である豊かな水と米が周囲にある環境で、自然と伝統を感じられる施設を整備した経緯を説明。地域の持続的な成長に寄与していきたいと述べた。また、北陸3県における外国人観光客の入込みや日本酒の輸出状況を示し、今後はインバウンド需要を取り込みたいと意欲を見せた。

諏訪氏からは「ESHIKOTO」に隣接するオーベルジュ「飲宿縁」の説明が行われた。「またとない縁を飲む」というコンセプトの下に整備された8棟の客室や、バーが一体となったレストランなどの施設が紹介された。



ESHIKOTO について説明する水野氏

続いて、福井商工会議所が実施する体験型観光プログラム「ふくのね」の優れたプログラムを表彰するふくのねアワードの結果が福井の魅力発掘・発信委員会の池内昭彦委員長より発表された。大賞には福井ふるさと茶屋杵と臼が提供する「もちつき体験・食べ放題」が選ばれ、杵と臼代表の岩佐武彦氏に八木会頭より賞状と記念品が贈られた。

【議員異動】(敬称略)

(株)JTB福井支店

(旧) 長谷川智洋 (支店長)

(新) 鈴木 武雄 (支店長)

(株)武善

(旧) 桑原三喜夫 (会長)

(新) 桑原 大喜 (社長)